

お広報にくぜんたかた

No. 1087



真劍勝負！

3 すべての人に
健康と福祉を

4 質の高い教育をみんなに



**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS**

- P 2 市勢功労者表彰・叙勲受章
- P 6 市役所からのHOTLINE
- P 12 市民のひろば
- P 14 地域の問題

令和2年陸前高田市市勢功労者

長年にわたり市勢の発展に寄与された方々に、敬意と感謝の意を表すため行われている市勢功労者表彰。本年は統計・社会教育・体育文化・水産・消防・交通の6部門で10人が選ばれ、11月4日(水)、市民文化会館 奇跡の一本松ホールで表彰式が行われました。

自治功労（統計）



菅野孝一さん(89)
気仙町(双六)

昭和63年から現在まで32年間、国勢調査などの各種統計調査に携わりました。平成24年から市統計調査員協議会会長を歴任し、統計思想の普及・高揚と統計行政の推進に尽力しています。

自治功労（統計）



熊谷郁男さん(81)
米崎町(高畑)

昭和59年から32年間、国勢調査などの各種統計調査に携わりました。調査の重要性・必要性を十分に認識し、調査にあたっては迅速な報告に努められ、統計調査の普及に尽力しました。

教育文化功労（社会教育）



齊藤篤志さん(80)
広田町(長洞)

平成19年から30年まで11年間、社会教育委員を務めました。地域社会の発展に寄与するとともに、卓越した識見をもって市の社会教育の振興に尽力しました。

教育文化功労（社会教育）



吉田豊司さん(76)
小友町(茂里花)

平成19年から令和2年まで13年間、小友公民館長を務めました。公民館活動の円滑な運営に努め、地域の社会教育の振興と文化活動の向上に尽力しました。

教育文化功労（社会教育）



村上温代さん(73)
矢作町(諏訪)

平成16年から28年まで12年間、社会教育委員を務めました。地域社会の発展に寄与するとともに、卓越した識見をもって市の社会教育の振興に尽力しました。

教育文化功労（体育文化）



坂井一晃さん(78)
高田町(鳴石)

平成17年から市野球協会副会長、24年から28年までは同会長を務めました。28年からは市体育協会副会長として、市民の健康およびスポーツの普及に尽力しました。

産業功労（水産）



山口徹也さん(76)
小友町(谷地館)

平成20年から広田湾漁業協同組合の理事、23年から6年間同組合の副組合長理事を務めました。組合員の指導や採介藻漁業の発展に尽力しました。

治安功労（消防）



多田栄さん(61)
横田町(袋沢)

昭和62年に入団以来、30年間にわたり、消防業務に精励しました。平成27年から横田分団長を務め、組織の充実強化や地域住民への防火思想の普及に尽力しました。

治安功労（消防）



村上勝さん(61)
広田町(平畑)

昭和61年に入団以来、27年間にわたり、消防業務に精励しました。平成22年から広田分団長を務め、団員の指導育成や、地域住民への防火思想の普及に尽力しました。

治安功労（交通）



太田秋男さん(72)
横田町(堂の沢)

平成2年から30年間、交通指導隊活動に精励しました。平成23年からは市交通指導隊長を務め、交通安全思想の普及・高揚に尽力しました。

叙 勲

～陸前高田市から2人が叙勲を受章～

令和元年秋の叙勲により、統計調査功労で村上明美さん、社会福祉功労で村上欣万さんが瑞宝単光章を受章しています。

令和元年 瑞宝単光章（統計調査功労）



村上明美さん(78)
横田町(志田実)

昭和55年から平成30年までの長きにわたり、国勢調査などの各種統計調査に携わりました。市統計調査員協議会副会長を務め、統計思想の普及・高揚と統計行政の推進に尽力しました。

令和元年 瑞宝単光章（社会福祉功労）



村上欣万さん(83)
高田町(鳴石)

昭和55年から平成28年までの長きにわたり、民生・児童委員を務めました。地域住民の声に耳を傾け、献身的に援助活動を行うなど、社会福祉の推進に尽力しました。

令和元年度の主な実施事業

市民文化会館整備事業

文化芸術および生涯学習に関する活動の拠点として、被災した市民会館と中央公民館の機能を併せ持つ複合施設の整備を行いました。

- ◆敷地面積 14,207㎡
- ◆事業費 29億8,106万円
(うちR1事業費 21億7,832万円)



道の駅高田松原整備事業

交流人口の増加および地域産業の活性化を図るため、被災した道の駅を再整備し、地域の特産品の販売や情報発信を行いました。

- ◆整備面積 1,500㎡
- ◆事業費 8億6,745万円
(うちR1事業費 3億4,314万円)



今泉地区コミュニティセンター整備事業

今泉地区のコミュニティ機能の再構築および地域防災拠点の整備のため、被災したコミュニティセンターの再整備を行いました。

- ◆敷地面積 2,448㎡
- ◆事業費 2億2,827万円
(うちR1事業費 2億1,120万円)



高田沖ほ場整備事業

県営ほ場整備事業を導入し、被災した高田沖地区の農地の復旧を行いました。令和元年の5月から営農が再開されています。

- ◆ほ場面積 28.3ha
- ◆事業費 941万円
(うちR1事業費 196万円)



地域学校協働活動推進事業

教育活動や教育環境の充実を図り、地域と学校とが協働で子どもを育てるため、様々な学校支援や子どもたちの体験学習を行いました。

- ◆活動人数 132人
- ◆活動回数 7,073回
- ◆事業費 1,038万円



高校生医療費給付事業

傷病の早期発見や経済的負担の軽減により、子育て支援の充実を図るため、子どもの医療費給付事業の対象を高校3年生まで拡大しました。

- ◆対象者数 366人
- ◆給付件数 1,602件
- ◆事業費 417万円



健全化判断比率

すべての比率で、国の定める基準を下回り、財政状況は健全であるという結果となりました。

	財政健全 陸前高田市の指標	早期健全化基準 (黄色信号)	財政悪化 財政再生基準 (赤信号)
実質赤字比率	★赤字なし	14.22	20.00
連結実質赤字比率	★赤字なし	19.22	30.00
実質公債費比率	★15.0	25.0	35.0
将来負担比率	★実質的負担なし	350.0	

- ◆実質赤字比率…一般会計などの赤字が経常的な収入(※)に占める割合。
- ◆連結実質赤字比率…すべての会計の赤字が経常的な収入に占める割合。
- ◆実質公債費比率…地方債(国や銀行などから借りるお金)の返済額が経常的な収入に占める割合。
- ◆将来負担比率…将来負担することになっている負債額が経常的な収入に占める割合。

※経常的な収入…継続的、安定的な収入

令和元年度 決算 一般会計歳出合計は、801億 372 万円

本市の令和元年度決算が認定されました。

一般会計は対前年度比で歳入が1.5%、歳出が1.7%の増となりました。歳入の構成比は復旧・復興事業における災害復旧事業費支出金を含む国庫支出金が34.6%と最も高く、以下、繰入金31.0%、地方交付税20.5%となりました。歳出の構成比は主に土地区画整理事業に使われた土木費が41.9%と最も高く、以下、総務費27.4%、災害復旧費16.3%となりました。

財政健全化法に基づく判断比率は、国の定める基準を下回り、**財政状況は健全**であるという結果となりました。

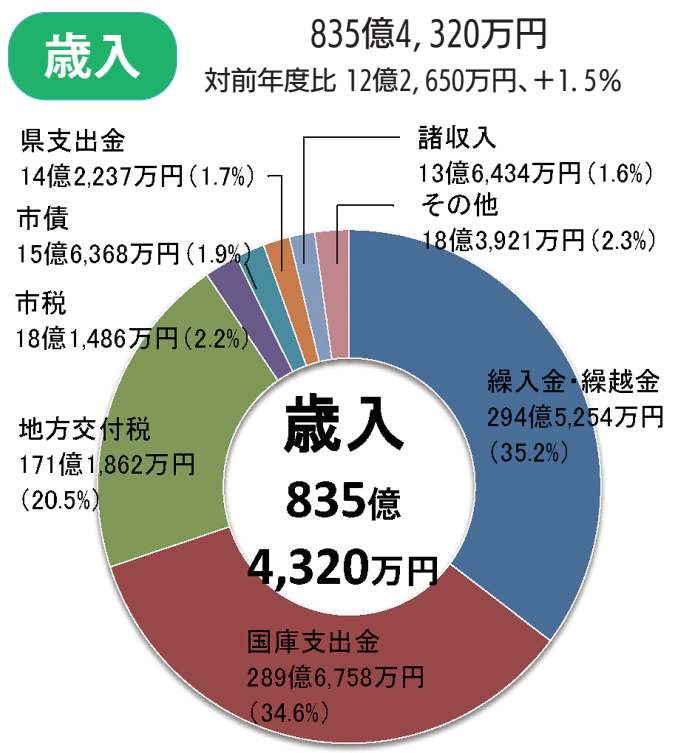
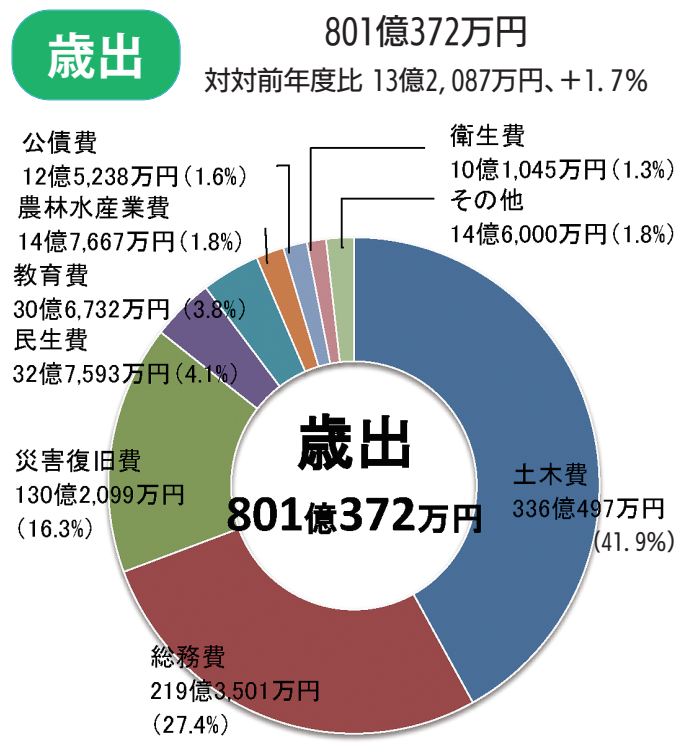
今後も引き続き復興事業完了に向け各種事業を進めるとともに、復興事業完了後を見据え、「陸前高田市まちづくり総合計画」に基づき適切な予算執行に努めていきます。



上空から見た中心市街地

一般会計決算内訳 ()内は構成比

※表示金額以下で端数調整しています。



特別会計決算内訳



まちの縁側内きらりんキッズの様子

会計名	歳入	歳出
下水道事業	6億8,579万円	6億6,899万円
農業集落排水事業	5,996万円	5,996万円
漁業集落排水事業	9,914万円	9,914万円
国民健康保険	事業勘定 25億 379万円 診療施設勘定 1億4,845万円	25億 235万円 1億4,845万円
後期高齢者医療	2億3,267万円	2億3,267万円
介護保険	保険事業勘定 25億9,231万円 介護サービス事業勘定 2,169万円	24億8,786万円 967万円

問い合わせ先 市役所財政課財政係(内線162)

受け取りには請求書の提出が必要です
年金生活者支援給付金制度

年金生活者支援給付金は、公的年金などの収入やその他の所得額が一定基準額以下となる、年金受給者の生活を支援するために、年金に上乗せして支給されるものです。

受け取りには請求書の提出が必要です。案内や事務手続きは、日本年金機構（年金事務所）で実施します。

◆対象者

- ①老齢基礎年金を受給している人（以下の要件をすべて満たしている必要があります。）

 - ・65歳以上である。
 - ・世帯全員が、市民税が非課税となっている。
 - ・年金収入とその他所得額の合計が約88万円以下である。
- ②障害基礎年金・遺族基礎年金を受給している人（以下の要件を満たしている必要があります。）

 - ・前年の所得額が約462万円以下である。

◆請求手続き

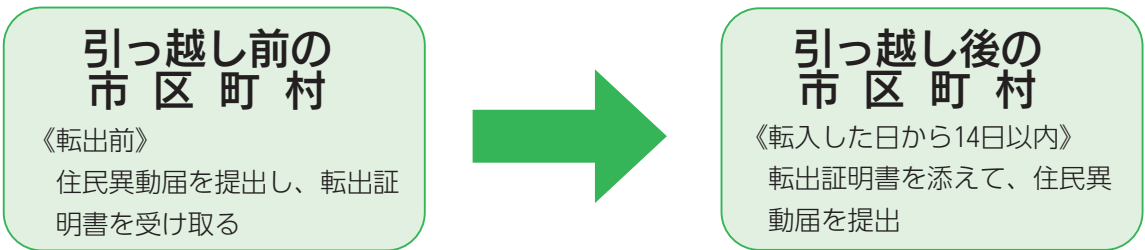
- ①新たに年金生活者支援給付金を受け取る人
対象となる人に、日本年金機構から10月中旬頃に、請求可能な旨のお知らせと共に請求書（はがき）が送付されています。
手続きがお済みでない人は、必要事項を記入の上、お早めに手続きしてください。
令和3年2月1日(月)（年金機構必着）までに手続きが完了すると、令和2年8月分から遡って受け取ることができます。
- ②年金を受給しはじめる人
年金請求手続きと併せて年金事務所または市役所で請求手続きができます。
※年金生活者支援給付金の請求でお困りの人は『ねんきんダイヤル☎0570(05)1165（ナビダイヤル）』までお問い合わせください。

問い合わせ先 市役所市民課登録係（内線133・134）

引っ越しの際は住所の異動手続きを忘れずに

入学や就職、転勤などで引っ越しをされた人は、原則、引っ越し先の場所が住所地となります。
住民票の異動の届け出は、国民健康保険や国民年金、選挙人名簿への登録など日常生活と密接な関係がある大切な手続きです。
届け出をしないことで、必要な公的サービスを受けられなかったり、新住所地での選挙の投票ができないといったデメリットがありますので、忘れずに住民票を移しましょう。
また、マイナンバーカードは、異動時の本人確認書類としても利用できるほか、健康保険証利用など様々な活用方法が国の施策として進められていますので、未取得の人は、ぜひマイナンバーカードの申請をお勧めします。

<転入・転出の手続きは簡単です！>



問い合わせ先 市役所市民課登録係（内線133・134）

東北復興宇宙ミッション
メッセージを募集します！

「東北復興宇宙ミッション」とは、世界中からいただいた東日本大震災への支援に対する感謝の気持ちをメッセージにして、宇宙から発信するプロジェクトで、震災から10年となる来年3月に実施されます。集まったメッセージの一部は、日本人宇宙飛行士によって読み上げられ、全世界に向けて発信されます。

本事業は一般財団法人ワンアースが復興庁事業として実施するもので、本市の参画も決定したことから、下記のとおりメッセージを募集します。皆さんから、たくさんのご応募をお待ちしています。

- ◆募集内容…これまでの復興支援に対する感謝の気持ちを表現したメッセージ（30～400字）
- ◆応募資格…市内にお住いの人
- ◆応募方法
メッセージに氏名（匿名やペンネームも可）、町名を添えてメールまたは郵送で応募
※メールの件名または封筒に「東北復興宇宙ミッション」と明記してください。
※郵送による応募の場合、返却はしません。
- ◆応募先…市役所政策推進室（〒029-2292 陸前高田市高田町字鳴石42番地5）
メール：seisaku@city.rikuzentakata.iwate.jp
- ◆応募締切…11月25日(水)
- ◆注意事項
○氏名および町名が公開されることがあります。あらかじめご了承ください。
○以下のようなメッセージは掲載することができません。
 - ・公序良俗に反するものや、法令などに違反したり、犯罪行為に結びつくおそれのあるもの。
 - ・個人的な内容や第三者に理解不能なもの。
 - ・第三者の著作権その他の権利を侵害する、または侵害するおそれのあるもの。
 - ・第三者および特定団体、宗教、思想などを過度に宣伝・賛美・誹謗中傷する、またはおそれのあるもの。



問い合わせ先

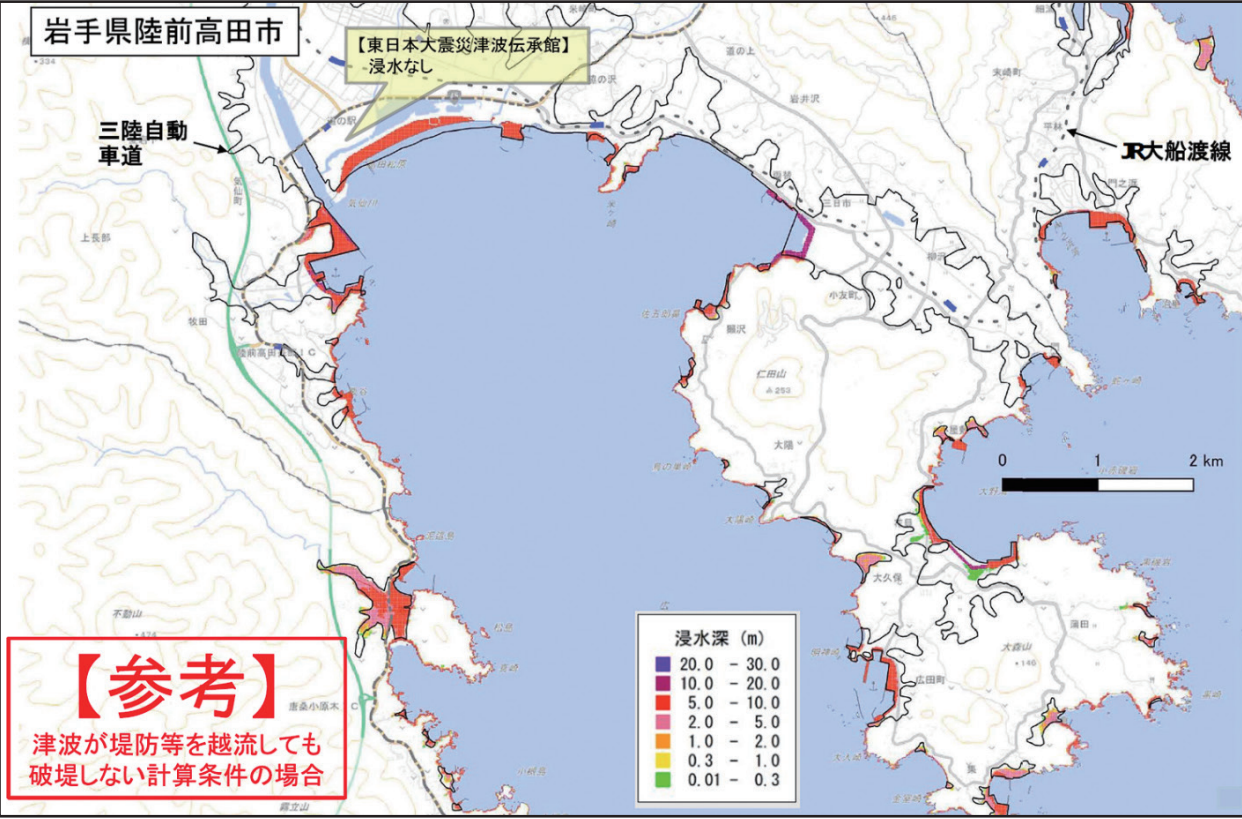
市役所政策推進室政策広報係（内線172・174）

◆今後の予定

主体	取組内容
国	「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震対策検討ワーキンググループ」において、人的・物的・経済的被害想定を行い、被害を軽減するための防災対策の検討を進めることとしています。
県	「県津波防災技術専門委員会」を設置し、地域の避難対策などの参考とするため、地形条件を捉えた詳細な推計を実施後、令和3年度以降に、より正確な津波浸水想定を公表することとしています。
市	令和3年度以降に県から示される津波浸水想定に基づき、ハザードマップを作成し、詳細について周知していきます。

◆参考（津波が堤防などを越流（※2）しても破堤（※3）しない計算条件の場合の浸水想定図）

- ※2 越流：堤防や防波堤の上を越えて水が流れ込んでくる現象
- ※3 破堤：防波堤が、洪水や津波などで壊れること



◆津波の危険を感じたら

- ・津波警報などの情報を待たず、すぐに避難！
- ・最寄りの安全な高い場所へ、すぐに避難！
- ・想定にとらわれず、少しでも高いところへ避難！
- ・津波注意報などが解除されるなど、安全が確認できるまで避難を継続！

◆津波に備えましょう

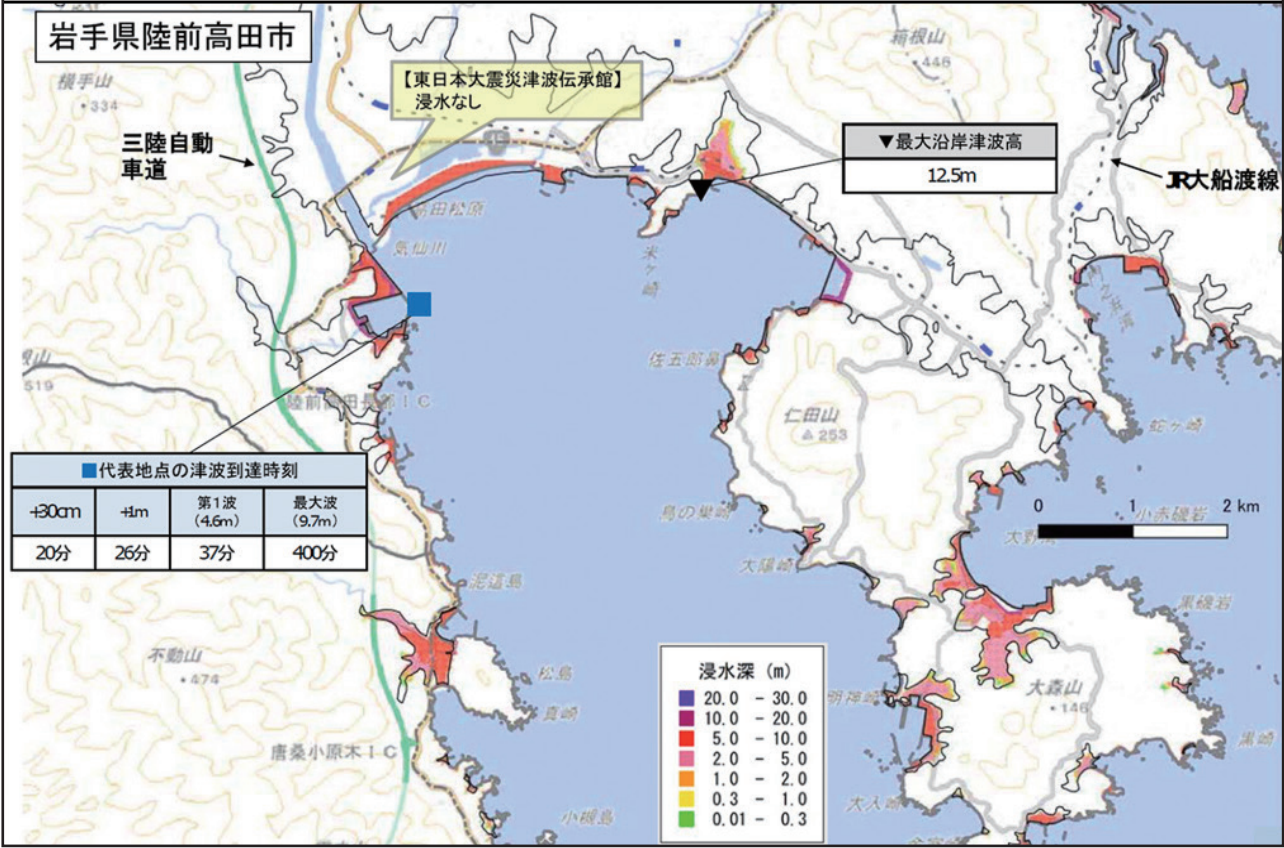
- ・津波防災マップを活用して避難先や避難経路を確認！
- ・津波の避難誘導標識を確認！



問い合わせ先 市役所防災課(内線601)

日本海溝・千島海溝沿いの最大クラスの津波による浸水想定を公表しました

9月11日(金)、国から「日本海溝・千島海溝沿いの最大クラスの津波による浸水想定」（岩手県分）が公表されましたので、その内容をお知らせします。



◆経緯

国では、東日本大震災の教訓を踏まえ、今後の地震・津波対策の想定は、「あらゆる可能性を考慮した最大クラスの巨大地震・津波を検討していくべきである」との考えから、日本海溝および千島海溝沿いで発生のおそれがある海溝型地震について、平成27年2月にモデル検討会を設置し、最大クラスの地震・津波を想定した検討を行ってきました。

今般、国において、その検討が進んだことから、今後の防災対策に資するため、震度分布や津波高、浸水域などの推計結果を公表したものです。

◆モデル検討会の検討結果

今回想定する日本海溝沿いの領域においては、過去12～13世紀および17世紀に最大クラスの地震が発生しており、17世紀の地震から既に約400年が経過し、最大クラスの地震発生が切迫している状況にあります。推定される地震の規模はマグニチュード9.1で、震度は岩手県沿岸南部の一部で震度6強が推計されています。

◆検討結果に基づく浸水想定

○推計条件

潮位は朔望平均満潮位（※1）で、堤防などの施設は、津波の方が高い場合、破壊されるとの前提で推計しています。

※1 朔望平均満潮位：朔（新月）および望（満月）の日から5日以内に現れる各月の最高満潮面の平均値

○津波高および浸水域の推計結果

本市の代表地点（長部漁港付近）における最大波は9.7m、到達時刻は6時間40分後と推計され、東日本大震災津波伝承館や中心市街地などのかさ上げ地への浸水はありませんが、広田半島の一部地域などで浸水する推計結果となっています。

特定健診・各種がん検診後期日程のお知らせ

10月から実施している以下の健診について、後期日程をお知らせします。自身の健康管理にお役立てください。なお新型コロナウイルス感染症対策を講じながらの実施となりますので、ご理解のほどよろしくお願いします。

◆健診の種類…①特定健診 ②高齢者健診 ③若年者健診 ④被災者健診 ⑤結核健診
⑥肺がん検診（喀痰検査含む） ⑦大腸がん検診 ⑧肝炎ウイルス検査 ⑨前立腺がん検診

■令和2年度特定健康診査および各種がん検診日程（後期）

- ・番号札は、開錠後午前8時半より配布します。
- ・混雑を緩和するため、対象地区を割り振っていますが、指定日に受診できない人は日程内の都合の良い日に受診してください。
- ・受診者が多いときは、受付時間内であっても人数を制限することがありますのでご了承願います。
- ・比較的午後の時間帯が空いています。

期日	場所	受付時間	対象行政区
11月24日(火)	小友地区コミセン	午前9時半～11時	小友町1区、2区
		午後1時～2時半	小友町3区乙、4区
11月25日(水)		午前9時半～11時	小友町3区甲
		午後1時～2時半	小友町5区、6区
11月26日(木)		午前9時半～11時	小友町7区、8区
		午後1時～2時半	小友町9区、10区
11月29日(日)		午前9時半～11時	★平日・指定日に受診できない人
		午後1時～2時半	
11月30日(月)	市コミュニティホール	午前9時半～11時	高田町1区甲、高台2、高台3
		午後1時～2時半	高田町1区乙
12月1日(火)		午前9時半～11時	県営栃ヶ沢アパート
		午後1時～2時半	高田町12区甲
12月2日(水)		午前9時半～11時	高田町12区乙、高台5・6・7
		午後1時～2時半	高田町17区
12月3日(木)	竹駒地区コミセン	午前9時半～11時	竹駒町1区、2区甲
		午後1時～2時半	竹駒町2区乙
12月4日(金)		午前9時半～11時	竹駒町3区、4区、滝の里仮設
		午後1時～2時半	竹駒町5区～7区
12月7日(月)	広田地区コミセン	午前9時半～11時	広田町3区、4区
		午後1時～2時半	広田町1区、2区甲、2区乙
12月8日(火)		午前9時半～11時	広田町5区、6区
		午後1時～2時半	広田町7区、8区
12月9日(水)		午前9時半～11時	広田町10区、13区
		午後1時～2時半	広田町9区
12月10日(木)		午前9時半～11時	広田町11区、12区
		午後1時～2時半	広田町14区、15区
12月11日(金)	保健福祉総合センター	午前9時半～11時	高田町6区、11区
		午後1時～2時半	高田町14区、市営住宅下和野団地
12月12日(土)		午前9時半～11時	高田町15区
		午後1時～2時半	市営住宅中田団地
12月13日(日)		午前9時半～11時	★平日・指定日に受診できない人
		午後1時～2時半	

問い合わせ先 市役所保健福祉課保健係（内線241）

市内保育所（園）・認定こども園
令和3年度入所申し込みを受け付けます

市では、令和3年度の保育所（園）、認定こども園の入所申し込みを受け付けます。年度途中での入所を希望する場合や継続入所、転所または転園の場合でも申し込みが必要です。

◆申込期間：11月24日(火)～12月23日(水)

※申込書類は、11月24日(火)から各保育所（園）や子育て支援センター、市役所子ども未来課で配布します。

【保育所（園）】

◆入所条件：児童の保護者全員が次のいずれかの理由に該当する場合

- ①就労（パートタイム・居宅内労働も含む）
- ②出産前後（※1）
- ③保護者の病気や障がい
- ④同居親族の看護や介護
- ⑤災害復旧⑥求職活動（※2）
- ⑦就学（職業訓練を含む）
- ⑧虐待やDVのおそれがある
- ⑨育児休業中に既に保育を利用し継続利用が必要
- ⑩その他①～⑨に類する場合

※1：入所期間は産前6週、産後8週となります。

※2：入所期間は3カ月となります。

■令和3年度募集保育所（園）一覧

施設名		連絡先	施設名		連絡先
公立	高田保育所	0192(54)3157	法人立	広田保育園	0192(56)3000
	小友保育所	0192(56)2800		米崎保育園	0192(55)3047
	気仙保育所	0192(55)2137		横田保育園	0192(59)2023
		竹駒保育園		0192(55)4345	
		下矢作保育園		0192(55)2523	

◆入所対象年齢：生後6カ月から（小友保育所は生後8月から）

◆募集施設：左の表のとおり

※申込状況によっては、希望する施設に入所（園）できない場合があります。

【認定こども園幼稚園部門】

◆入所対象児童：令和3年4月1日時点で、3～5歳の児童（高田保育所のみ）

問い合わせ先 市役所子ども未来課子育て支援係（内線204・205）

新型コロナウイルス感染症
後期高齢者医療保険料・介護保険料の減免申請を受け付けています

免除要件	減免額
新型コロナウイルス感染症により、主たる生計維持者が死亡、または重篤な傷病を負ったこと	全額
新型コロナウイルス感染症の影響により、主たる生計維持者の事業収入などの減少が見込まれ、以下に該当すること	前年の所得額などにより減免額が変わります
①事業収入などのいずれかの減少額が、前年の10分の3以上であること	
②減少する事業収入など以外の前年度の所得の合計額が400万円以下であること	
③【後期高齢者医療保険料のみ】令和元年度の所得の合計額が1000万円以下であること	

※事業収入など…事業収入、不動産収入、山林収入、給与収入

問い合わせ先 市役所保健福祉課国保介護係（内線247・249）

新型コロナウイルス感染症の影響により一定程度所得が下がった人などに対し、後期高齢者医療保険料・介護保険料の減免を行っています。

減免要件と減免額は、左の表のとおりです。

◆減免対象：①後期高齢者医療保険料：75歳以上の人

②介護保険料：65歳以上の人

◆減免期間：令和元年度と令和2年度の保険料のうち、令和2年2月1日～3年3月31日までに納期限が設定されているもの

◆その他：令和元年度の合計所得額がゼロまたはマイナスの場合は減免の対象なりません。

知っておきたい空き家のこと

第1回 ～空き家を負債から資源に～



今月から「知っておきたい空き家のこと」の連載を開始します！

この連載は、全国的な課題となっている「空き家問題」について、早期の対策に繋がるよう、知っておくべき知識を幅広くお届けします。

皆さん、空き家問題と聞いて、どんなことを連想しますか？一言で空き家問題と言っても問題は色々あります。

- ・空き家放置のリスク（建物の老朽化、賠償問題や火災保険など）
- ・空き家の相続登記について
- ・判断能力の衰えによる空き家の継承について（成年後見制度など）
- ・空き家の利活用の方法、売却や賃貸のポイントなど

「空き家」という言葉にあまり良い印象をお持ちでない人が多いのではないのでしょうか。

所有者が誰かわからず、利活用の実態がないような、放置された空き家は、“負債”になってしまうのも事実です。

しかし、元々は誰かの幸せな記憶が詰まった素敵な家だったはずで。

空き家について正しく知って、“負債”ではなく、“資源”に変えていく。住んでいた人も、これから住む人も幸せになれる空き家の利活用を目指していきます。

この連載により空き家について興味を持たれた人、空き家の利活用を希望する人は、下記までご連絡をお待ちしております。

問い合わせ先

高田暮舎 ☎ 070 (2432) 1649

または 市役所観光交流課定住交流係（内線 422）



高田東中学校野球部

県大会を制し全国へ！



9月26日(土)～10月4日(日)にかけて行われた文部科学大臣杯第12回全日本少年春季軟式野球大会兼第18回県少年軟式野球新人大会兼第18回東北少年軟式野球新人大会県予選で、見事初優勝を果たした高田東中学校野球部。来年3月に静岡県で開催される全国大会への出場を決めました。【写真提供：高田東中学校野球部】

ゆず狩りサポーター募集します

陸前高田の新しい特産品づくりプロジェクト「北限のゆず研究会」では、ゆず収穫のお手伝いサポーターを募集しています。1日だけ参加や午前中だけの参加も可能です。みんなで楽しくゆず狩りしませんか？

◆日時…11月7日(土)・14日(土)・18日(水)・21日(土)・25日(水)・28日(土)

※28日(土)は昼食時に交流会を予定していますので、交流会費(お弁当代など)500円をご持参ください。

午前10時～午後4時

(雨天時の開催の有無は午前6時～6時半に電話にてお知らせします)

◆募集人数…各日25名(要予約・先着順)

◆集合場所…市総合営農指導センター隣 ライスセンター駐車場
(陸前高田市米崎町字川崎238-2)

◆持ち物…タオル、昼食代、帽子、収穫作業を行うための汚れてもいい服装、防寒具など。

◆参加費…無料(参加者の皆さんで、昼食を近隣の飲食店でとる予定としておりますので、昼食代(1,000円程度)は各自ご負担ください。)

◆応募方法…参加日・名前・性別・年齢・住所・電話番号をメールまたは電話にてお申し込みください。

◆申込期限…各開催日の2日前の午後5時まで

◆その他…新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、募集は県内の人のみとします。

申し込み・問い合わせ先

北限のゆず研究会広報事務局
トナリノ(松本) ☎080(8578)6631
メール:hokugen.yuzu@gmail.com

教えて！SDGs

10 人や国の不平等をなくそう



10 人や国の不平等をなくそう

世界には今76億人の人がいます。世界の富の半分以上がわずかに1パーセントの人のものだとわれています。このように富が一部の人たちに集中し続けるなら、どんなに経済が成長したところで貧しい人はずっと貧しいままで取り残されてしまいます。極端な格差を放置せず、富をうまく再分配する仕組みをつくれたら、貧困や飢餓はもちろん、紛争の解決にもつながるでしょう。

目標10は先進国・途上国を問わず、年齢、性別、障がいの有無、人種、階級、民族、宗教などにもとづく不平等を世界中から無くそうという目標です。

◎すぐにでも私たちが出来ることは…

- ①フェアトレード(※)の商品を選んで購入する。
 - ②世界には飢餓で苦しんでいる人が多くいるということを理解し、食べ残しをしないなどの意識をもって生活する。
- ※フェアトレード…開発途上国で生産された製品などを適正な価格で購入するための貿易の仕組み



まちの縁側内はびなろかふえの様子



○富裕層1%が世界の富の半分以上を保持している。

○飢餓で苦しんでいる人がいる反面、食品が大量に廃棄されている。



平和と正義の天秤

震災後9回目「みちのくマラソン」

間寛平さんら市役所へ来庁



市役所を来庁した寛平さんとアンダーエイジ

震災後の平成24年から実施され、今回で9回目となる「RAN FORWARD KANPEI みちのくマラソン」が10月10日(土)に福島県を出発、14日(水)本県の宮古市をゴールに実施されました。

13日(火)間寛平さんと岩手住みます芸人のアンダーエイジの2人は津波伝承館などを見学したあと、市役所へ来庁。得意のジョークも交えながら「来年もまた来ます。これからも前向きに前進していきましょう」と話していました。



第66回市戦没者追悼式

平和への誓い新たに

第66回戦没者追悼式は10月14日(水)、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、献花のみという形で開催され、遺族らおよそ140人が参列しました。

会場には、遺品の返品を通じて、平和を希求する団体から返品された日章旗(太平洋戦争で亡くなった神原寅雄さんの遺品)が展示され、会場を訪れた参列者は興味深く遺品をながめ、戦没者への思いをめぐらせていました。

問い合わせ先 市役所保健福祉課福祉係(内線 210)



75年ぶりに遺族のもとへ届いた日章旗

6次産業化推進協議会勉強会

6次産業化によるブランディング



市総合営農指導センターでの勉強会の様子

市や商工会、生産者らで作る市6次産業化推進協議会は、9月30日(水)に、6次産業化による地域ブランディングをテーマとした、勉強会を開催しました。

参加した会員や飲食店組合、菓子組合の事業者ら約20名が、東京農業大学中村先生および東京丸の内の事業者を講師に迎え、地場産品の付加価値向上の考え方を学びました。

市では今後、市内生産者と飲食事業者らとのマッチングイベントや地場産品を活用したモデル商品の開発を計画しています。

問い合わせ先 市役所商政課ブランド推進係(内線 432)



ゆるキャラGP日本一おめでとう!!!



問い合わせ先 A i d T A K A T A たかたのゆめちゃん事務局 ☎ 03(5319)2124



全国のご当地キャラクター人気ナンバーワンを決める「ゆるキャラグランプリ2020 THE FINAL 未来へつなぐいわて幸せ大作戦!!!」が10月3日(土)、4日(日)に滝沢市の産業文化センターアピオで開催され「たかたのゆめちゃん」が28万17票を集め、見事グランプリに輝きました。

表彰式に参加した戸羽市長は「ゆるきゃらではなく『ゆめきゃら』として、これからは交流人口の拡大に向けて、観光大使的な役割を担い頑張ってもらいたい」と話していました。

たかたのゆめ稲刈り式

豊かに実ったブランド米

市のブランド米「たかたのゆめ」の収穫を祝う稲刈り式は10月2日(金)、横田町の生産者白川周一さんの田んぼで、地元の子どもたちや関係者など約50人が参加し行われました。

開会式では舟波副市長が「高品質な米作りに取り組む生産者の方々に感謝し、たかたのゆめの豊作を願いたい」とあいさつ。稲刈り体験には「たかたのゆめちゃん」も参加し、子どもたちと一緒に作業を楽しんでいました。

問い合わせ先 市役所商政課ブランド推進係(内線 433)



稲刈り体験を楽しむ横田保育園の子どもたち





ひろき たくが ち
樋口拓也さん
(立教大学異文化コミュニケーション学部卒、早稲田大学大学院国際コミュニケーション研究科)

日本と海外の大学生が復興の課題に取り組む 立教大学「陸前高田プロジェクト」



陸前高田市をフィールドとした課題基盤型学習プログラム。スタンフォード大学をはじめとする海外大学の学生と協働し、すべて英語で行います。事前学習、現地研修、事後研修を通して、陸前高田市における東日本大震災の被災状況や復興の取り組み・現状を自身の体験を通して学びます。また、被災地や被災者の抱える復興における課題を共有し、海外の大学生も交えた協働作業により、広く多様な視点で課題解決の提案を行います。

「大学生が絶え間なく訪れる交流のまち、陸前高田への貢献」という方針に基づく立教大学のプログラムの一つ「陸前高田プロジェクト」。今回はプロジェクトに参加した学生と協力いただいた市民の声をお届けします。

参加した大学生の声
陸前高田イズムの継承者に

参加動機を教えてください。

陸前高田プロジェクトは被災地の現状や課題を知り、海外の学生と一緒にその課題に向き合うプログラムです。私は2017年には参加者として、2018年は学生アシスタントとして携わりました。自分の目で被災地の現状を見たい、また海外の大学生と日本の課題について対話したいと考え参加を決定しました。

陸前高田市における活動で印象に残っていることを教えてください。

陸前高田を訪れ、特に印象に残っていることが2つあります。

まず「復旧」ではなく「復興」を目指して取り組んでいるということです。苦しみの中にある地域の人々が元の陸前高田に「戻す」ことを考えるのではなく、「未来へ向かってより素敵な街にする」ことを目標としている姿に心を打たれました。案内をしてくれた地元団体の人が辛い体験を話してくれた光景を今でも鮮明に覚えています。

2つ目は人の温かさです。陸前高田の人はゲストである私たちを快く迎え入れてくれました。まさに「ノーマライゼーション」という言葉のいらないまちづくり」が自然に実践されているのだと感じました。

現在、陸前高田市での体験をどのように生かしていますか。

東京で生まれ育った私にとって陸前高田での経験は、単に被災地の現状を見ることにとどまらず、日本が抱えている少子高齢化や都



あき ありた
太田明成さん
(カフェフードバーわいわい)

「楽しかったあ」と、いつも感じています。プロジェクトに参加した海外の大学生に被災体験や復興について話をするときは、通訳を介しながら一方的になってしまいがちですが、交流会・発表会では和やかな雰囲気のもとゲームや会話で盛り上がり、時間がたつのが早く感じています。

英語で話しをする機会はありませんが、少しでも多く会話ができるようになっていけたらと思っています。(太田明成)

大学生と出会った市民の声

市部への人口流出の課題を自分ごととして捉える意識を醸成させてくれるものでした。さらに「人」と「人」がお互いを尊重し、助け合うという人間の真髄を再認識することができました。

講師として学校で働く現在、生徒たちに「自分で経験し考えることの大切さ」や「個性を認め合う必要性」を伝えています。

今後も、助け合う社会の実現を目指す陸前高田イズムの継承者として歩み続けたいです。(樋口拓也)

職業訓練校市街地で着工

気仙大工の技伝承にも期待



着工前の神事で鉄入れなど行う工事関係者

陸前高田高等職業訓練校の安全祈願祭が10月10日(土)、高田町の現地で行われ、関係者ら約40名が出席。神事で工事の安全と無事を祈りました。

戸羽市長は「気仙大工を目指す人々の思いが形になる施設として運営していただきたい」とあいさつしました。

新しく完成する施設は木造平屋建て、延床面積約220平方メートル。多目的に使われる訓練室、機械加工室などを備え、来年4月の供用開始を予定しています。

問い合わせ先 市役所商政課商工係(内線436)

ドリーム・ベースボール

元プロ野球選手とファンが交流

プロ野球で活躍した往年の名選手20人とファンが交流する「宝くじスポーツフェアドリーム・ベースボール」が高田松原運動公園完成の記念事業として10月18日(日)に第一野球場「楽天イーグルス奇跡の一本松球場」で行われました。

午前中には子どもたちを対象とした野球教室を実施。午後にはドリームチームによるアトラクションや、市選抜チームとの交流試合が行われ、ドリームチームの監督である村田兆治さんが投手として出場。ダイナミックな「マサカリ投法」を披露し会場に詰めかけたファンを喜ばせていました。



<陸前高田こどもスタジアム>

株式会社楽天野球団より寄贈された「陸前高田こどもスタジアム」は高田松原運動公園内に設置してあります。ゴムボールをボード裏にしておりますので、ご自由にお使いください。



問い合わせ先 夢アリーナたかた ☎ 0192(22)8448

慶 弔(9月16日～10月15日届け出分)

※届け出人が希望した人のみ掲載
※氏名は通常字体で掲載

◇おめでた()は保護者・字名

◎男の子

高田	寺坂 蒼生 (智宏・中田)
	及川 璃久 (光平・山苗代)
米崎	村上 楓月 (和三・脇の沢)
広田	斎藤 健佑 (洋一郎・太陽)

◎女の子

気仙	木下 穂乃 (洋人・愛宕下)
高田	高橋 麗 (昭・中田)
米崎	佐藤 楓佳 (拓志・道の上)
小友	金澤 蒼依 (一幸・谷地館)

◇おくやみ()は年齢・字名

矢作	中平 洋太郎 (87歳・袖野)
	佐藤 時夫 (78歳・中平)
横田	佐々木 キミ子 (91歳・砂子田)
	荻原 由太郎 (78歳・槻沢)
竹駒	上部 ユリ子 (96歳・滝の里)
	板林 秀雄 (84歳・上壺)
気仙	小嶋 スミ (94歳・愛宕下)
	中野 トキワ (93歳・要谷)
	村上 昭二 (83歳・上長部)
高田	菊田 幸吉 (79歳・鳴石)
	石川 キミ (99歳・鳴石)
	大和田 喜代志 (84歳・中和野)
米崎	高井 文子 (86歳・館)
	金野 丈雄 (70歳・中島)
	金野 孝喜 (91歳・和方)
小友	金野 武記 (78歳・上新田)
広田	村上 新助 (86歳・山田)
	佐藤 吉代 (95歳・羽根穴)
	吉田 ズン子 (88歳・長船崎)
	菅野 一郎 (48歳・太陽里)
	村上 剛 (64歳・小屋敷)

数字で見る陸前高田市(令和2年9月30日現在)

市内の火災救急活動(9月)
()は1月からの累計

◆建物	0件 (0件)
◆林野など	0件 (1件)
◆出動件数	60件 (570件)
◆搬送人員	60人 (560人)

市の人口(住民登録人口)
()は前月比 出生・死亡数は8月分

男性	9,051人 (－ 5人)
女性	9,643人 (－ 9人)
	18,694人 (－ 14人)
	(出生 9 死亡 29)
世帯数	7,626世帯 (－ 7世帯)

市内の交通事故(9月)
()は1月からの累計

◆人身事故	2件 (12件)
◆物損事故	20件 (183件)
◆負傷者	2人 (13人)
◆死亡者	0人 (0人)
◆飲酒運転	0人 (4人)

問い合わせ先

市地域包括支援センター
☎0192(22)8671

介護お茶のみ話 その72



安心して暮らし続けるために
「成年後見制度」の活用を

皆さんは「成年後見制度」についてご存じですか。

認知症や知的障害、精神障害などにより判断能力が不十分な場合には、不動産・預貯金などの財産管理や、医療・福祉サービスを利用するための手続きや契約などが難しいことがあります。また悪徳商法や詐欺などの被害にあう可能性も高くなります。

このような場合に法律面や生活面で高齢者などを保護・支援する制度が「成年後見制度」です。

◆成年後見制度とは

成年後見制度(法定後見制度)は、判断能力が不十分な人に代わって、後見人が法律行為(契約など)を行ったり、被害にあった契約を取り消したりする制度です。本人の能力に応じて、「補助判断能力が不十分な人」、「保佐(判断能力が著しく不十分な人)」、「後見(判断能力が全くない人)」の3類型に分け

られます。

後見人は、家庭裁判所が本人にとってどのような保護や支援が必要なのか考慮して、家族、法律・福祉の専門家、法人などから適任者を選任します。

◆支援の内容

①財産管理
本人の預貯金の管理、不動産などの処分、遺産分割などの財産に関する契約などについての助言や支援を行います。

②身上監護

介護・福祉サービスの利用、病院の入退院の手続きや費用の支払いなど、日常生活にかかわる契約などを支援します。

また、成年後見制度には、将来判断能力が不十分になった場合に備えておく「任意後見制度」もあります。

◆どこに相談したらよいの？

市地域包括支援センターは、高齢者の介護、福祉、医療、権利擁護などの支援に関する総合相談窓口です。成年後見制度に関する詳細や手続きについてはお気軽にご相談ください。

保健
だより



『季節性インフルエンザに備えましょう』

例年12月下旬からインフルエンザが流行しています。一人ひとりの感染予防への心がけが重要です。

◆インフルエンザと風邪と新型コロナウイルス感染症の違いは？

インフルエンザは、のどの痛みや咳など一般的な風邪症状に加えて、38℃以上の高熱と全身のだるさ、関節痛や筋肉痛などの全身症状が急速に現れます。

新型コロナウイルス感染症もインフルエンザと似た症状が現れるため、見分けることが困難です。発熱が続く時、周囲の感染状況から感染が心配される時、息苦しさや味覚異常などの特徴的な症状がある時は、医療機関や帰国者接触者相談センターに電話相談をしましょう。

◆感染経路を知ろう！

飛沫感染：くしゃみや咳、つばなどと一緒にウイルスを放出し、別の人が口や鼻から吸い込むこ

とで感染します。

接触感染：咳やくしゃみなどの飛沫がついた手で物に触れることでウイルスが物に付着、別の人がその物にさわると、口や鼻をさわることで感染します。

◆基本的な感染予防の徹底を！

①こまめな手洗い・消毒
帰宅時や食事前は必ず手を洗いまししょう。アルコール製剤の使用も効果的です。

②免疫力を高めましょう

十分な休息とバランスのとれた食事を日ごろから心がけましょう。

③行動に気をつけましょう

人混みを避け、咳やくしゃみなどの症状がある場合は、必ずマスクを着用しましょう。

また、自宅安静・療養中も基本的な感染予防を行い、家庭内感染を防ぎましょう。

◆流行前にワクチン接種を！

インフルエンザワクチン予防接種には重症化を予防する効果があります。※高齢者と中学生までの子どもについては接種費用の一部を助成しています。

問い合わせ先

市役所保健福祉課係保係(内線241)

～広田湾漁協女性部小友支部～
今月のおすすめレシピ

サンマの蒲焼風

(1人分) エネルギー 406kcal
食塩相当量 3.21g (タレを含む)



秋の味覚を召し上げれ！

サンマは秋の味覚を代表する食材のひとつです。

サンマには血液の流れを良くするといわれるEPAが含まれており、脳梗塞・心筋梗塞などの病気を予防する効果があります。またDHAも豊富に含まれており、体内の悪玉コレステロールを減らす作用、脳細胞を活性化させ、頭の回転を良くする効果も期待できます。

おいしいサンマは、背中が盛り上がり太り、黒目の周りが透明できれいです。鼻の先と背びれの黄色いサンマは脂がのっています。

甘辛い味付けで、魚が苦手な人もおいしく召し上がっていました。

作り方

- ①サンマの頭を取って開き、内臓と大骨を取って水洗いをし、キッチンペーパーで水気をよくきる。(細かい骨はそのまま)
- ②開いたサンマを半分にし、片栗粉をまぶしてサラダ油でこんがり焼く。
- ③別の鍋に④の調味料(タレ)をすべて入れて火にかける。
- ④③に②のサンマを入れ、ひっくり返しながらかき混ぜる。
- ⑤盛り付けし、お好みで大根おろし、大葉、葉ネギなどを添える。

問い合わせ先 市役所水産課水産係(内線 342)

材料(2人分)

サンマ……………2尾
片栗粉……………大さじ2
サラダ油……………大さじ1
しょう油……………大さじ2
みりん……………大さじ2
④ 酒……………大さじ2
砂糖……………大さじ2
水……………大さじ2
大根おろし、大葉、葉ネギなど…適量

サラの
Thankyou! SINGAPORE ～⑮アナゴ取り体験～

シンガポール出身で市の国際交流員のサラ・チュウさんが、陸前高田で“見て”“体験して”感じたことを伝えます。

2018年に宮城県石巻市でボランティアした際に、見た海がとてもきれいで、それをきっかけに海への憧れが沸き、それからずっと海の近くに住み、海の仕事をしてみたいと思っていました。今年の



捕獲したアナゴ

8月中旬に、やっとその夢に近づける体験をすることが出来ました。

その日は、漁師の友達に誘われ、1日密着取材をしながら、アナゴ取り体験までさせてもらいました。

真夏の太陽の光と蒸し暑さで、バテそうになりましたが、船で広田湾の沖合いまで行き、涼しい

潮風が顔に当たった瞬間、その心地よさに生き返ったような気がしました。

円筒形の容器に餌を入れて前日に海中に沈めておいた仕掛けを引き上げました。容器がガタガタしたら、それはアナゴが入っている証拠です。仕掛けには、土嚢が付いているせいか、引き上げた容器は思ったより重かったです。体力が必要な作業で力がすぐなくなりましたが、楽しくてやり甲斐があったので続けることが出来ました。

上手く説明出来ませんが、海には不思議な魅力があり、海に関わることをする度に気分がもの凄く盛り上がります。ついついまた手伝いに行くと約束してしまいました。



東京オリンピック・パラリンピックのホストタウンとしてシンガポールを応援します！



※市内医療機関および金融機関等の事業所で、広報りくぜんたかたを購読希望の場合は左記発行元へご連絡ください。
※広報りくぜんたかた11月号(No.1087)の印刷経費は1部51.7円(税抜き)、発行部数は7,550部です。